

入中1年人権だより



徳島市 八万中学校
1年生 第1号
2020年6月〇日
編集・文責 吉成正士

人権作文を書こう!!

みなさんは小学校の時、人権作文を書いたことがありますか？

中学校では、毎年この時期にみんなが人権作文を書き、学級や学年で発表会を行うこともあります。

実際にみなさんに書いてもらうのは6月末からです。それまでの間にも、いろんな人権について学びます。そのことにふれて書いてみるのもいいでしょう。また、新しくできた友達との出会いから学ぶこともあるでしょう。

書くうえで一番大切なことは、「具体」です。実際に体験したことや見聞きしたこと、また本やニュース、新聞などから見聞きしたことにふれて、自分の感じたこと、自分の中にある差別意識、自分の中にある本音を記していくことです。

ただその時に、周りの情景を添えてみるのもいいかもしれません。

□そのときの季節は？

春？ 夏？ 秋？ 冬？

□そのときの時刻は？

朝？ お昼？ 夕方？ 夜？

□そのときのお天気は？

晴れ？ 雨？ 大雨？ 曇り？ 強風？ 雪？

□そのときの気候は？

暑かった？ 寒かった？ 涼しかった？

□そのときの場所や景色は？

学校？ 家？ 帰り道？ 野原？ 教室？ 体育館？

□そのとき聞こえた音は？

鳥のさえずり？ 車の音？ 人の声？ 足音？

□そのときにいた人は？

友達？ 先生？ 家族？ 知らない人？

こんなことにも気をとめながら、原稿用紙3枚以上にまとめてみましょう。

ちなみに徳島県としては、個別人権課題を次のようにあげています。みなさんが知ってるもの、聞いたことのあるものは13個中、何個あるかな？

- 女性
- 子ども
- 高齢者
- 障がい者
- 同和問題
- アイヌの人々
- 外国人
- 刑を終えて出所した人
- 犯罪被害者等
- HIV感染者・ハンセン病患者等
- インターネットによる人権侵害
- 日本人拉致問題
- 災害時における人権

これら以外にも、いじめ問題や性的少数者の問題、

人種・民族の問題、もっと広くとらえれば、戦争や環境問題なども人権問題と言えるかもしれません。

とにかく、書く内容はみなさんがこの1年間、またはこれまでに経験したり、学んだりしてきたこと、人権に関する発見や気づき、それぞれの思いや考えをまとめるものです。

小学校のときにあった出来事や、お家で起きた出来事、友達との間で起こったこと、またこの度の新型コロナウイルスに関することなどもあるかもしれません。

経験のなかには、うれしくて感動したことや、怒りに拳を握りしめたこと、悲しくて消えてしまいたいと思ったことや、寂しくて体が震えたことなどもあるかもしれません。ぜひ、いろんなことを思い巡らして書いてみてください。そしてそのことを通じて、あなた自身を、先生や学級・学年の友達に知ってもらいましょう。

ありのままの自分、飾らない本当の自分を知ってもらうということは、もしかすると、すごく言いたくなくて、勇気のいることかもしれません。でも、言いたくないことは、実は本当は、みんなに知ってもらいたいこと、分かってもらいたいことだったりします。嘘偽りのない本当の仲間となっていくためには、それは乗り越えなければならぬ大きな峠といえます。

今、まだ言える勇気がなくて書けないことは、書かなくて構いません。今、言えること、今、みんなに伝えられる範囲のこと、今のみなさんの心の内を、しっかり書いてみてください。

人は、人間関係が悪くなると、苦しくなったり、悲しくなったり、腹が立ったりします。ときには学校に来たなくなったり、部屋に引きこもってしまったり、人に会うのが怖くなったりすることもあるかもしれません。「どうして自分だけが…」と、生きることを悲観したくなるようなこともあるかもしれません。

でも逆に、人間関係が良くなれば、毎日学校に行くことが、家族や友達や先生に会うことが、部活動に行くことが、勉強や授業ですら、うれしくて楽しくて、人生がバラ色のように思えることもあるものです。

つまり、私たちが生きていくうえで人間関係が良くなるのが、気持ちよく生きていける基本だと言ってもいいのです。その人間関係を良くしていくための第一歩として、この人権作文を書いてもらえればと思います。

そして、最高の学級、学年の仲間の絆を、みんなで作っていきましょう。この人権作文の取り組みを通して、この学年が、みなさん自身が成長できることを願っています。

♪どんな事実について書いてみたいですか？

人権にかかわると思えるものを思い出し、いくつもあげてみましょう。

♪その時にどんな気持ちになりましたか？

一つの気持ちだけでなく、いくつもの複雑で揺れる思いを引き出してみましょう。

♪そのことを通じてどんな生き方をしていこうと思いましたが？ 今どんな生き方をしていますか？

そこには、あなたを支える友達や家族などがいるはず。共に進もうとする姿を見せてください。